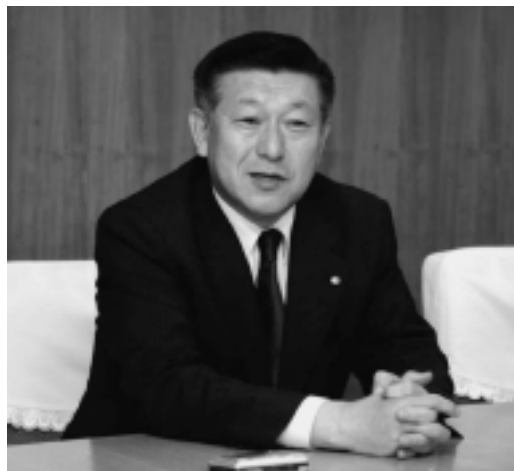


秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長のほっとコラム

市長 佐竹敬久



新年度の記者会見で

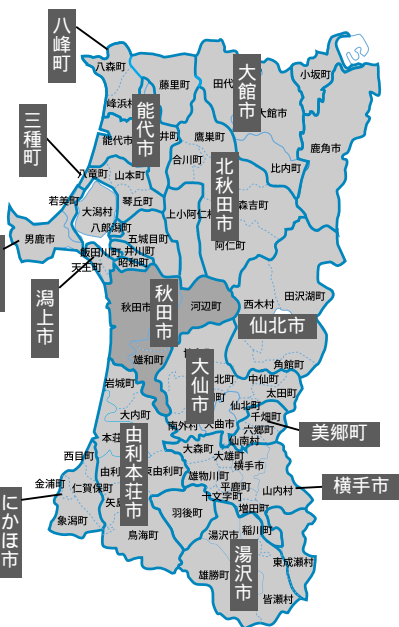
平成の大合併・後記

住民生活に大きな関わりを持つ市町村の枠組みの再編、平成の大合併に区切りがきました。多くの市町村にとって、ここ数年間最も時間とエネルギーを費やしたのは合併事業であったものと思います。

本県では、平成十六年十一月一日の美郷町(六郷町、千畑町、仙南村)に始まり、本年三月二十七日の八峰町(八森町、峰浜村)まで十五の合併がありました。そして四月末の新三市町の首長選挙により、議員の在任特別の一部に残されているものの、まずは五月から合併市町村すべてで本格執行体制が整うこととなります。

全県六十九市町村のうち五十九が合併を選択し、単独を選んだ十市町村と合わせ、結果十三市十二町村、二十五の枠組みに収まりました。

市町村行政に長年携わった私でも、「あれ、あの町はどここの市になったっけ?」などと、つい新たな枠組みに戸惑うことがあるほどの大きな変化です。ましてや住民のみなさんは合併による制度や窓口の変化に戸惑うことが多く、さらには付き物の旧市



町村間の綱引きなど単純には片が付かず、むしろ年月を経ることにより表面化する問題もあります。

しかし、紆余曲折、悲喜こもこもものうちに、より大きく新しい器となり、住民のみなさんにとっては一抹の不安のなかにも将来への希望を抱いての合併であったものと思います。また、合併に至らなかった市町村においても、これまでの議論をとおして自らの足を久々に見つめ直すよい機会になったものと考えられます。

さて、合併という市町村にとって最大の出来事はゴールを迎えましたが、それは紛れもなくスタートでも

あります。もちろん、先行きさらに厳しくなるであろう行財政環境のなか、多くは地域を維持するためにやむなく合併を選択せざるを得なかった側面が強い平成の大合併ではあるものの、それをゴールとすることはさらなる後退を意味します。

枠組みの拡大による自治体としての体力の高まり、有形無形の数多くの地域資源や地域力につながる知恵の結集などにより、可能性が大いに高まったと捉えることが大切です。

幸い本市の場合には見られないものの、一部に決定済みの協議事項の蒸し返しなどによる「ギクシャク」が聞こえるなか、従前の枠組みでの考えにこだわることなく、新たな視点で広く可能性のネタを見つけて育てながら、地域や市町村間での前向きな競争に大きなエネルギーを注ぐことこそが、合併効果を最大限に高めることにつながるものとなりそうです。

秋田市初の議員立法

子どもの目から「子ども条例」

「秋田市未来を築く子どもを育むための市民や社会の役割に関する条例(子ども条例)」が、五月五日(金)に施行されます。これは秋田市で初めて市議会議員が発議した政策条例です。

秋田市議会では、子どもを取り巻く環境が厳しくなっている今こそ、子どもが健やかに育つために大切なことを、市民一人ひとりが共通認識として持つ必要があると考え、「子ども条例」

を作成。秋田市初の議員発議として今年の二月議会に提案され、全会一致で可決されました。

子どものために大人ができることは？

条例というのは、いわば秋田市独自の法律。この条例では、子どものために社会全体でやっていくこととして、子どもの「人格・個性を尊重すること」「安全を確保すること」など六つを挙げています。

そして、すべての子どもが健やかに育まれること、子どもの育成に誇りと喜びを感じる社会を実現することをめざし、市民や市などがどのような役割を果たすかを定めています。



子ども条例が定める役割

家庭 子どもの心身のよりどころとしての家庭環境づくりなど
学校等 人間性、社会性をはじめ、学力など、生きる力の育成、子どもの発達段階に応じた学びの場としての環境づくりなど
地域 地域行事など、社会性を育むことができる場の提供など
職場 保護者が安心して子どもを育成できる環境づくりなど
市 子どもの育成にかかわる政策の実施・評価、結果の公表など

問 議会事務局議事録
10(866)2233



4月9日、旭川でサケ稚魚の放流

秋田市指定文化財 史跡 柳沢遺跡

市教育委員会は3月28日、手形山にある「柳沢遺跡」を、秋田市指定文化財に指定しました。

柳沢遺跡は、昭和48年、手形山団地の造成工事の際に発見されました。調査の結果、秋田市内で初めての縄文時代前期(今から約5,500年前)の遺跡だとわかりました。

遺跡の面積は約3,200平方メートルで、竪穴住居跡6軒と土坑(人が掘った穴)1基があります。中でも、南北15メートル、東西5メートルの長方形の大型竪穴住居跡は、とても貴重です。

問い合わせ 文化振興室tel(866)2246



土器の破片も
たくさん見
つかりました



住居を建てた跡が残っています